

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)		* 一般小売店〔紙類〕（経営者）	* 来客数の動き	* ・少し遠い住宅街の若い世代の客が増え、景気が良い。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・クリアランス商材の売上は前年並みであるが、20日を過ぎて春物の定価商品の動きが悪くなっている一方、高額商品の動きが良い。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・食品物産展が好調で、婦人の洋品雑貨や紳士のカジュアル服なども回復傾向にあるが、以前より少し良くなった程度でまだまだ前年を超えるレベルにはない。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数の増加や前年を大幅に上回る売上から、景気はやや良くなっている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・シングル需要で客単価が上昇している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・初売りの来客数と売上が前年を上回っているが、初売りの商材に飛びつく様子をみると、価格志向が強い客の傾向に変化はない。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型車効果により1月の販売量は前年比120%となっている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・不調だった前年と比較して今年は販売量が伸びている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・人の動きは少ないが、動いている人はある程度金を使っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新年会で来客数が増えている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・需要のある歩合制の小型タクシー運転手の売上はやや良い。ただし中型ハイヤー運転手を固定給としたため、会社の負担が増えたことから、全体の収益が前年の98%となり、ほぼプラスマイナスゼロである。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子が良くなっている。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・正月レースなどで通常より売上が多い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今年に入って来客数が減少し、売上も低下している。
		商店街（理事）	来客数の動き	・正月という季節的要因はあるが、今月に入って気温が低下したため、例年どおりの人の動きが出ている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	お客様の様子	・名刺の注文が少なく、印鑑の注文が多い。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・売り出し日の来客数が減少している。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・1月の売上は大雪の影響で大きく落ち込んだ日があり、前年を10%程度下回る見込みである。特定客を対象とする貴金属や美術品は好調であるが、その他の部門は前年売上に届かないところが多い。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・1月に入り気温が一気に下がった影響で防寒衣料など冬物の動きが好調に推移しているが、トータルでは辛うじて前年をクリアする状況であり、景気回復はまだまだ実感できない。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今年の正月は食品売場に菓子を買いに来たり、クリアランスセールに来るなど、家族そろって楽しむ雰囲気がない。雪でスノーブーツの販売量が大幅に増加したため、防寒アイテムは全般的に前年より伸びているが、靴、バッグ、子供向け衣料の動きは低迷している。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・クリアランスセールがあり、紳士服や寝具類が好調である。紳士物は価格が下がれば購入する客がいるが、婦人服に関しては必要ではないものは購入しない傾向にある。ひな人形や着物などの高額商品の売上は前年を大きく上回っており、目的のある商品に客は金を使うが、そうではないぜいたく品には金を使わない客の傾向に変化がない。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・100万円を超える焼物や掛軸、宝石などが売れているが、先のことは予想がつかない。	
	百貨店（人事担当）	お客様の様子	・客は高額品でも欲しいものには金を使うが、福袋などはお買得商品であっても、よく見極めて購入している様子が見えがえる。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価に変化はない。	

スーパー（店長）	お客様の様子	・天候不順で魚が不漁であるが、気温が下がって衣料の動きは好調である。
スーパー（店長）	単価の動き	・低単価商品の動きが良く、客単価もほぼ横ばい傾向にあるので、景気の流れは変わっていない。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・天候の影響で来客数が前年を下回っている。
スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・野菜単価は前年並みで、販売点数は前年をクリアしている状況が続いている。
スーパー（財務担当）	来客数の動き	・気温の低い日が続いている影響で、既存店の来客数は前年を割っており、生鮮の高値による1品単価上昇によって客単価が上昇し、売上が前年を上回る状況が続いている。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・来客数は依然伸び悩みが続いており、年末年始のイベント開催時にも大きな回復はない。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・依然としてより安い物を求めて来店する客が多い。
コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・天候不順で基盤となる夕方から深夜にかけての来客数の伸びが鈍化し、特に市内中心部の来客数が伸び悩んでいるが、他の都道府県に比べると減少率は低いので深刻な状況ではない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数と客単価に変化はない。
乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・客が購入を控える傾向に変わりはなく、販売台数にも大きな変化はない。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・堅調な販売台数を維持できており、土日の展示会も整備在庫も来店が多くにぎわっている。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・1月に商談会を実施したが、予定の来場者数はクリアできていない。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量は変わらないが、利益率が少しずつ低下傾向にある。メーカーが少しずつ利益を絞り込み、そのしわ寄せが販売店にのしかかっているため、景気が良くなるはずがない。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・来客数に大きな変化はない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	来客数の動き	・米国の新大統領就任後、株価上昇など景気が復調傾向にあるように見えるが、先行き不安定なところもあり、大きな動きはない。来客数も日祝日のイベントなど来館動機があれば増加するが、盛り上がりも今一つで、購買動機をどのように仕掛けるか課題となっている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年末年始の曜日まわりの影響で、正月休みが少なく来客数の減少が見られた。正月明け以降天候が悪く、特に5年ぶりの積雪量や交通まひが来客数の一層の減少をもたらしている。
一般レストラン（外食事業担当）	来客数の動き	・食材が値上がりしたため、9～10月にかけて実行したメニューの値上げが定着しはじめている。10月末に大手外食チェーン店が出店し、来客数は前年の95%が続いているものの、客単価が102～103%で推移しているので売上は95～97%を何とか維持している。好天の正月に助けられ、月後半は前年のように雪に交通を遮断されることもなかったため売上は伸びている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・当県はまだまだ景気が上向き気配がなく、現状維持が精いっぱい、赤字にもなりかねない。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	来客数の動き	・高速道路の交通量が減少しているため来客数が少ない。
都市型ホテル（企画担当）	お客様の様子	・宿泊では海外、特にアジアからの個人客数が減少している。クリスマスは家族客で好調であったレストランはその後ランチが好調で、特に主婦層の利用が多くなっている。
都市型ホテル（総支配人）	お客様の様子	・今月は2週にわたる寒波襲来でキャンセルが多発し、予想した宿泊客数を大きく下回っている。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・米国の新大統領就任による影響で今後どうなるか分からない。
タクシー運転手	お客様の様子	・正月から新年会などで夜の動きが良くなっているが、月後半からは天候の関係で落ち込んでいる。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・賞与時期以降年明けにかけて、依然格安SIMサービスや携帯端末への引き合いが多い。

通信会社（販売企画担当）	来客数の動き	・来客数が増えない。
テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・前年同月に比べて入館者数や商品販売数などに変化はない。
ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・天候に左右されるので集客が難しい。
美容室（経営者）	来客数の動き	・駅前に客が流れており、特に土日の商店街の人通りは少ない。
設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・同業他社の受注状況を見ていると一部の企業は伸びているが、かなり苦戦しているところが多く、全体的には伸びがない状況である。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・客の節約ムードや低価格商品志向の傾向に変わりはない。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・戸建て新築住宅の引き合いが少ない状況が続いている。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・分譲住宅、注文住宅共に契約受注の伸びは低調である。
商店街（代表者）	来客数の動き	・例年1月は動きが少ないが、飲食店やタクシードライバーからの話では新年会が極端に少ない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・初売りとパーゲンで例年並みのにぎわいであるが、曜日の関係で来客数と売上が減少している。
一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・年末商戦を含め国内販売は動きが良くない。当社は早くから海外輸出にも努力をしていたおかげでいくらかカバーできているが、国内販売は今後の景気がどのようになるのかが懸念材料である。
一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・大雪などの悪天候で通常に営業できる日が少なくなっている。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・1月に入って大雪が降り、来客数が減少して売上にマイナス影響が及んでいる。ギフト解体セールは前年売上を上回っているが、再値下げとなった商品の売行きは悪く、全体的にマイナス基調に変わりはない。
スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は前年の100%、客単価は98%である。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店の食品スーパーや24時間営業店は価格訴求のチラシで集客するため、来客数の増加が難しい状況である。特に総菜のボリュームや品ぞろえで大きく差をつけられている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・気温の低下で来店頻度が減少している。客は必要な物を少ない頻度で購入することで支出を抑える傾向にある。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・前年末は来客数、客単価共に好調に推移したが、年が明けてその反動がきている。この時期の売上の核となる福袋や処分品などの商材も例年になく消化率が悪い。
衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・取引先の話ではどこの店も全体的に商品の売行きが悪い。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・エアコンの動きはまずまずであるが、暖房機器の売行きは悪く、販売量が前年をクリアできていない。
家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年の95%で客単価も上らず景気は悪い。
住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・年末に売り尽くしセール、正月に初売りを行ったので、現在は来客数が減少している。
その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・1月に入って商品価格が下がり、客は購入意欲が出ているように見えるものの、いざ購入するときになると冷静になっている。
その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	来客数の動き	・1月末にテナントが閉店し、ファミリー客が減少している。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・正月明けから昼はまずまずの来客数であるが、夜の家族利用や法人利用が前年をかなり下回っており、厳しい状況である。
一般レストラン（店長）	お客様の様子	・先月に比べ客の来店頻度が低下している。予約に関しても先月は前年を上回る勢いであったが、今月は前年に届かない見通しであり、次の来店までの期間が少し長くなる客もいる。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・正月が終わり大寒波も被ったため来客数が減少している。

	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・クリスマスから年末年始にかけてはレストランの先行予約などが好調で来客数が増加したものの、正月明けから個人客の動きが鈍くなり、駅周辺のショッピングセンターなども苦戦している。宿泊のインバウンド団体客の予約も低調である。
	旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・個人ならびに法人需要の先行予約状況が良くなく、ここ数か月は回復の兆しが無い。
	通信会社(広報担当)	単価の動き	・値下げがない新商品にはあまり動きがない。
	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・大規模造成地の完成で増加していた新規加入件数が落ち着き始めている。
	テーマパーク(業務担当)	来客数の動き	・イルミネーションのイベントが終わり、大雪の影響もあって来客数が減少している。
	テーマパーク(営業担当)	来客数の動き	・1月中旬からの大雪により客足が鈍っている。
	美容室(経営者)	単価の動き	・客から新年会などの話はなく、年末年始に金を使った反動で客の財布のひもがかなり固い。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・住宅の耐震リフォームに動きは多少見られるが、なかなか契約に至らない。
	× 商店街(代表者)	単価の動き	・バーゲン時期であるが売上は低迷しており、客は安くなっても購入しない。
	× コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・3か月前に比べて来客数が減少しており、前年同月に比べると3%減少している。たばこの販売が売上全体を押し上げて前年より1%伸びているが、それによる利益はさほど出ないので、経営的には厳しい状況である。
	× 乗用車販売店(店長)	来客数の動き	・新型車効果は薄れ、サービス入庫で巻き返しを図っているが、サービス入庫客も前年の85%で推移している。
	× 自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・販売量は前年同月よりは良いが、冬物商材が売れにくい時期になり、年間で一番の閑散期に突入している。
	× その他専門店[海産物](経営者)	販売量の動き	・まとまった団体客があるので来客数は前年より多いが、購入単価が低い。
企業 動向 関連  (中国)	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量は順調に推移している。
	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・年末年始の工場運転停止に伴う需要増加により、一時的ではあるが販売量がやや増加している。
	鉄鋼業(総務担当)	取引先の様子	・力強さはないが荷動きは好転してきており、市況もようやく上向きは始めている。供給側は従来どおりひっ迫したままなので、鋼材の値上げが通りやすい環境が整いつつある。
	非鉄金属製造業(業務担当)	受注価格や販売価格の動き	・金属相場の高め推移が続いており、収益向上要因となっている。また液晶パネルも昨夏から客の高稼働が続いており、生産状況、販売状況共に好調を維持している。
	輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・電子商取引の荷動きが順調で、特にフリマアプリを利用した発注件数が増加し、発送個数が順調に増えている。法人の大口の荷動きも順調に伸びているため、海産物が低調な当県の荷動きを補っている状況である。
	不動産業(総務担当)	それ以外	・来客数と成約件数が増加している。
	食料品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・特売商品を出しているが、前年並みの売上である。
	木材木製品製造業(経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・住宅ローンの金利低下や相続税の節税対策ともあいまって、新設住宅着工戸数は増加傾向であるが、3か月前と比べると景気は横ばいである。
	化学工業(総務担当)	それ以外	・好調な業種はあるが、セメントの内需が低迷しているなど、国内産業の動きが悪い。
	窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・今月は先月の年末年始対策の反動もあって生産量が落ち込んでいるが、電気炉向け需要が好調で下支えしている。
	金属製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は生産能力の6割程度しかなく、厳しい状況が続いている。
	電気機械器具製造業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・燃料価格の上昇分を製品価格に転嫁できず、利益は減少傾向であるが、新規客からの商談件数は順調に伸びてきており成約の期待が持てる。

	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客の受注量は内示に比べ減少傾向である。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・技術職員の稼働、予定物件の受注が順調に推移している。
	建設業（総務担当）	競争相手の様子	・今のところ順調であるが、米国の新大統領就任による影響で今後の展開が読めない。
	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・倉庫関係で目立った入出庫予定はなく、国際関連貨物の動きにも変化がない。
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・海外に工場拠点を置く製造業が新大統領就任によって今後の米国の政策が変更される影響を踏まえ、設備投資を保留する案件が出始めている。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末年始の休暇の影響で通信機器の受注件数が例年以下になっており、新規受注件数の伸びも鈍化している。
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・自動車メーカーの国内販売は低調であるが、輸出が好調なため自動車部品メーカーの受注は高水準を維持している。
	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・販売量が減少しており、得意先では売上が少なくなって四苦八苦している。
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・現在世界的に新造船の商談がストップしており、国内造船各社の受注量は前年比大幅減となっている。手持ち工事が減少するなかで、景況感は悪化を続けている。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・為替が円安で推移していること、国内の景気が今一つ伸びていないことで材料仕入価格が上昇する一方で、国内販売価格はそれに伴う値上げを据置きせざるを得ない状況となっており、収益上苦しい状況が続いている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・繁忙期の年末年始に受注が多くあったが、現在は減少傾向である。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・地場の建設業者の住宅着工件数が減ってきている。建設用地で目ぼしいものは他県の業者が購入し、地場の中小業者が購入しにくくなっており、建売住宅の着工件数が減少気味になっている。製造業でも従来は地場の業者で受けていた下請仕事が、安い単価で他県の業者に持っていかれる事例も出ている。
	x	*	*
			*
雇用関連 (中国)		-	-
	求人情報誌製作会社（広告担当）	求人数の動き	・採用意欲の有無と雇用形態のアンケートを企業に行ったところ、採用意欲のある企業は98%に上り、雇用形態は正社員が一番多く、次いで中途採用、パート、アルバイトの順であった。このことから正社員採用への企業の高い意欲がうかがえる。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率は2009年以降右肩上がり推移しており、当県は全国でも3位の状況となっている。個人消費も底堅く、企業の設備投資や公共投資も持ち直している。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・3か月前と比較して新規求職者数が40%減少しており、特に自己都合退職者が78%と大幅に減少している。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・有効求人数は一般、パートとも前年同月より増加しているが、月間有効求職者数は減少が続き、6か月連続で4,000人を下回っているため、月間有効求人倍率は1.78倍となり、今年度最高値を更新している。人手不足感は各業種に広がりを見せているが、求人が滞留している状況である。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・地元で雇用する求人が以前に比べて増加してきている。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・インターネットからの求職者エントリーが増加傾向にある。就業意欲の高い人材だけに、各営業所での本登録会への誘致を強化している。希望職種への迅速な紹介と、求職者ニーズに沿った求人活動を一層強化していく必要がある。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は菓子製造工場的大幅増員予定の食品製造を始めとした製造業や、鳥取県中部地震の影響が一段落した宿泊サービス業からの募集がある一方で、減少に転じた業種もあったことから求人全体では横ばいとなっている。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・求人意欲は相変わらず旺盛であり、工場用地の取得を発表するメーカーも複数出てきており順調である。

	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・求人ニーズはあるが、反響が悪く出し渋りにつながっている。求職者も転職意向はあるが、行動までは至っていない。
	学校 [ 短期大学 ]（学生支援担当）	求人数の動き	・求人数は県外、県内ともほぼ変わらない。
	学校 [ 大学 ]（就職担当）	求人数の動き	・3か月前との比較では特段の変化はない。求人に関しても次年度へ向かって動きは始める直前でもあり、地味な印象である。
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・求人受注数は前年を大きく上回るペースで推移していたが、年明け以降は前年より10%以上減少している。
	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・求職者と求人企業の間で年収のミスマッチが起きている。求職者が仕事内容に興味を持って面接を受け内定を出されても、提示の年収では生活ができないと断るケースが多い。
	x	-	-